

粒ぞろいのひびき、日米合同演奏で頂点に 2016 ニューヨーク合唱フェスティバル

Benefit Concert for Victims of the Japanese Earthquake and Tsunami,
and for Local, U.S. and International Communities in Need

日米親善、東日本復興支援をねらいとする「2016(第4回)ニューヨーク合唱フェスティバル」が2016年4月6日(水)、世界の音楽殿堂カーネギーホールで開かれた。日米7合唱グループが粒ぞろいの、個性を生かした美しいハーモニーをひびかせ、歌声でこころをつないだ。集まったたくさんの聴衆も加わって合同演奏「花は咲く」「ふるさと」「大地讃頌」を歌うと、ホールが感動のうずにつつまれた。



YPC (ヤングピープルズコーラス・オブ・ニューヨークシティ)
フランシスコJ・ニューエズ指揮



アンサンブルさくらノート 相澤直人指揮



合同演奏「花は咲く」 相澤直人指揮



HIBARIバイ恵子合唱団 近藤恵子指揮



日本クラブ女声コーラス部・紐育男声合唱団 尾島陽子指揮



UGC (ユニバーシティ・グリークラブ・オブ・ニューヨークシティ)
フランシスコJ・ニュニエズ指揮



ソーハーモニウム女声合唱団 エリザベス・ニュニエズ指揮



合同演奏「ふるさと」 尾島陽子指揮



MC 久下香織子さん



会場での募金活動



合同演奏「大地讃頌」 近藤恵子指揮

撮影 GION

朝日新聞、河北新報、時事通信などに記事・写真

合唱フェスティバルの様子は朝日新聞、河北新報(仙台)、時事通信などの記事、写真で報じられた。「海の向こうから被災地に歌声のエールを送った」(朝日新聞4月7日付)。カーネギーホールでのあたたかい声援、熱い思いがメディアを通じ東日本大震災被災地や全国に広く伝えられた。

募金は東日本被災者グリーフサポート、熊本大地震に

募金の半分は、朝日新聞厚生文化事業団を通じて東日本大震災で大切な人を失った子どもによりそうグリーフ(悲しみや苦しみ)サポートにあてられた。残り半分はライオンズクラブ国際財団、日本赤十字社をへて熊本大地震被災者へ届けられた。

■主 催 文化芸能国際交流機構 (ジェクサ)

■後 援 内閣府 復興庁 外務省 日本貿易振興機構 日本貿易会 毎日新聞社 朝日新聞アメリカ社
朝日新聞厚生文化事業団 ニューヨーク日本商工会議所 日本クラブ ニューヨーク日系人会
フジサンケイ・コミュニケーションズ・インターナショナル (FCI)

■協 賛 ANA IJICE IACE TRAVEL

■協 力 ニューヨーク日系ライオンズクラブ・チャリティーズ